

## 事前にお寄せいただいたご質問に関する回答

2023年3月30日  
楽天グループ株式会社

全てのご質問に対して回答するものではございませんので、何卒ご理解ください。  
本株主総会の目的事項に関しない場合、ご質問が重複する場合、ご質問に対して回答することが顧客、従業員、その他の者の権利・利益を侵害するおそれがある場合等は、回答を差し控えさせていただきます。また、個別の回答はいたしかねますので、ご了承ください。

事前にお寄せ頂いたご質問	回答
取締役・監査役の選任基準を教えてください。 (第2、3号議案について)	取締役及び監査役候補者の選定にあたっては多様性の重視とともに、国籍・性別・年齢等にかかわらず当社グループの企業理念に基づき、その理念を高いレベルで体現し、当社グループの更なる発展に貢献することを期待できる人物を選定しています。 具体的には、IT、金融、会社経営、法務・リスクマネジメント等の分野で指導的役割を果たし、適切な経営の意思決定及び監督を行うことができる者を取締役候補者として選定しています。 また、取締役及び執行役員の業務が法令及び社会規範を守り適正に執行されることを監査できる者を監査役候補者として選定しています。
社外取締役候補者に官僚出身者がいる理由を教えてください。(第2号議案について)	社外取締役候補者は、当社の経営課題を踏まえ、個別に人選を検討しております。 該当する社外取締役候補者2名は、これまでの豊富な経験と幅広い見識をもとに、今後のグループの持続的成長のため、客観的な視点から業務執行に関する助言および意見をいただくことを期待し、選定しています。
なぜ取締役の報酬額を増額するのか、報酬額の基準を教えてください。 業績を鑑みると減額すべきではないのか。 (第4号議案について)	経営体制及びコーポレートガバナンス体制の一層の強化を目的とした取締役の増員等の事情を踏まえ、取締役の報酬限度額を改定することといたしました。報酬方針に変更はなく、この増枠による大幅な水準の見直しは現段階では予定しておりません。
資金調達を積極的に行っているが、その場しのぎでないのか、財務戦略を聞かせてほしい。	モバイル事業で必要となる資金については、従来より、インターネットサービス事業等から創出される安定的なキャッシュフローに加えて、楽天グループ(株)(当社)における第三者割当増資、保有アセットの資金化、社債発行等を原資とする当社から楽天モバイル(株)に

	<p>対する投融資、及び楽天モバイル（株）自身におけるリース調達等により行ってきました。</p> <p>モバイル事業における基地局整備の前倒し等を背景に、足許は当社による社債発行等の有利子負債調達を実施したものの、当社は、財務の基本的な方針として、財務健全性の確保等の観点から、今後の必要な資金手当てについては、有利子負債に依存することなく、投資資産の売却、事業ポートフォリオの見直し、戦略的業務資本提携、外部資本の活用等、非有利子負債性の資金調達を行うことで、財務体質の改善に努めてまいります。</p>
<p>楽天モバイルの業績や今後の計画について教えてほしい。</p>	<p>2022年7月に新料金プラン「Rakuten UN-LIMIT VII」へ移行したことにより一時的に解約が増えたことで2022年第4四半期まで契約回線数が減少しました。一方で新料金導入に伴いユーザー一人当たりの収入は大きく増加しました。</p> <p>2023年度につきましては、引き続き自社ネットワークの拡大と品質向上による契約者獲得増に加え、自社エリアの拡大に伴うローミング費用等のネットワーク関連費用の削減や法人サービスの開始等の新たな収益源の拡大により、早期の黒字化を実現したいと考えております。</p>
<p>楽天モバイルの不正について説明してほしい。</p>	<p>楽天モバイルの元従業員および複数の取引先が共謀し、費用の水増しや虚偽の報告をはじめとした様々な手法を用いて楽天モバイルに対する多額の不正請求を行い、金銭的利益を得たうえでその一部を元従業員および社外の複数の関係者に還元していたことが社内調査により判明しています。</p> <p>逮捕・起訴された元従業員は社内規程に基づき、2022年8月12日付で懲戒解雇としており、取引先を含め犯罪行為に関与した者に対して、損害賠償を求める民事訴訟を含めて、刑事上および民事上の責任追及を徹底します。</p> <p>楽天モバイルにおいては、被害の発生を未然に防げなかったことを厳粛に受け止め、購買業務に関する決裁権限や購買担当部署の業務フローの見直し、一連の購買プロセスのモニタリングの強化、従業員への教育・周知等について改善に取り組んでいます。また、当社においても、グループ管理の観点から、当社のCCO（チー</p>

	<p>フコンプライアンスオフィサー) 配下の調達管理部署の増強、グループ各社に共通して求める購買業務に関する方針の周知ならびにその実行を指導・支援しています。</p> <p>このような事態が発生したことは誠に遺憾です。株主様をはじめとする多くの皆様にご心配をお掛けする事態となりましたことを、深くお詫び申し上げます。</p>
<p>株価を上昇させる方策は検討しているか。</p>	<p>現在注力している将来成長が期待される事業分野（モバイル事業等）をいち早く軌道に乗せるとともに、既存のコア事業（楽天市場、楽天カード等）の更なる成長を目指すことで、企業価値の向上に努めてまいります。</p>

※株主優待については、「[楽天グループ株式会社株主様ご優待専用サイト](#)」からお申込みください。